

# シラバス

|     |         |       |     |       |      |
|-----|---------|-------|-----|-------|------|
| 教 科 | 科 目     | 単 位 数 | 学 年 | コ ー ス | 組    |
| 国 語 | 古 典 探 究 | 4     | 2   | 文系GA  | 1～4組 |

|     |                    |     |   |
|-----|--------------------|-----|---|
| 教科書 | 「精選 古典探究 古文編」(三省堂) | 副教材 | 「読解を大切に 体系古典文法」(数研出版)   |
|     | 「精選 古典探究 漢文編」(三省堂) |     | 「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店)<br>「読んで見て覚える重要古文単語 315」(桐原書店)<br>「新訂総合国語便覧」(第一学習者)<br>高1・高2 古文(文法編) (リクルート)<br>高1・高2・高3 漢文 (リクルート) |

|       |  |
|-------|--|
| 科目の目標 | <p>1. 古典文学に幅広く触れながら、日本文化の特質と多様な価値観を知ることで、より多角的な思考力を身につける。</p> <p>2. 古典文学を読み味わいながら、内容・表現から思想や感情を的確に捉える力を養うことで、より分析的な読解力を身につける。</p> <p>3. 古典文学を通して、語法や文法などの日本語に関する知識を深めることで、より豊かな言語能力と表現力を身につける。</p> |
|-------|--|

|       |  |
|-------|--|
| 科目の概要 | <p>多種多様な古典作品を読んで、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めたり、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めたりすることで、読解力や言語能力向上を図る。また、日本と中国などの外国文化との関係について作品を通じて比較・考察することで、日本文化の特質と多様な価値観について学ぶ。</p> |
|-------|--|

| 観点別評価                 |   |  |  |
|-----------------------|---|--|--|
| 3<br>観<br>点           | ○「知識・技能」  | ○「思考力・判断力・表現力」   | ○「主体的に学びに向かう態度」  |
| 10<br>の<br>力          | 技能)⑥「受信・発信力」⑨「自己管理力」  | ②「課題対応力」<br>③「論理的思考力」<br>④「原因分析力」<br>⑤「傾聴力」<br>⑥「受信・発信力」   | ②「課題対応力」<br>⑦「協働力」<br>⑧「行動力」<br>⑨「自己管理能力」<br>⑩「自己実現力」  |
| 観<br>点<br>の<br>評<br>価 | ○古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできたか。<br>○古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができたか。 | ○文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができたか。<br>○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができたか。<br>○古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができたか。 | ○文学作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、文学作品について自分の考えを持つことができたか。<br>○同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりすることができたか。 |
| 評<br>価<br>の<br>方<br>法 | ○定期試験 ○授業内活動<br>○課題への取り組み・提出状況<br>以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。   | ○定期試験 ○授業内活動<br>○課題への取り組み・提出状況<br>以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。  | ○授業内・外での学習活動等<br>○課題への取り組み・提出状況<br>以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。   |

| 学 習 計 画     |   |   |
|-------------|---|---|
| 学期          | 学 習 内 容 ( 単 元 )   | 単 元 別 学 習 目 標   |
| 1<br>学<br>期 | 【古文】<br>『十訓抄』『博雅の三位と鬼の笛』<br>【漢文】<br>『搜神記』『売鬼』<br><br>【1学期 中間試験】 5月19日～22日             | 【古文】<br>・助動詞「まし・めり・らし・まほし・たし・ごとし」<br>【漢文】<br>・句法 否定形<br>【古文と漢文の対比】<br>古文と漢文で描かれる「鬼」の違いを理解する。                  |
|             | 【古文】<br>『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』<br>【漢文】<br>『説苑』『不顧後患』<br>『淮南子』『塞翁馬』<br><br>【1学期 期末試験】 7月1日～7日 | 【古文】<br>・助動詞「らむ・けむ・べし・まし」<br>【漢文】<br>・句法 疑問形・反語形<br>【古文と漢文の対比】<br>古文と漢文で描かれる題材の違いを理解する。                       |
| 2<br>学<br>期 | 【古文】<br>『枕草子』『大納言殿参り給ひて』<br>【漢文】<br>『論語』『孟子』『荀子』『老子』『荘子』<br><br>【2学期 中間試験】 10月14日～17日 | 【古文】<br>・敬語の種類・敬意の方向<br>【漢文】<br>・句法 詠嘆形・比較形・仮定形・限定形・累加形<br>【古文と漢文の対比】<br>古文と漢文で描かれる思想の違いを理解する。                |
|             | 【古文】<br>『大鏡』『道真と時平』<br>【漢文】<br>『刺客列伝』『荊軻』<br><br>【2学期 期末試験】 12月1日～5日                  | 【古文】<br>・助詞 係助詞・間投助詞・格助詞<br>・係り結び<br>・格助詞「の」の識別<br>【漢文】<br>・句法 抑揚形・願望形<br>【古文と漢文の対比】<br>古文と漢文で描かれる歴史の違いを理解する。 |
| 3<br>学<br>期 | 【古文】<br>『源氏物語』『心づくしの秋風』<br>【漢文】<br>・王維・李白・杜甫・白居易<br><br>【3学期 学年末試験】 3月4日～9日           | 【古文】<br>・助詞 副助詞・終助詞<br>・「なむ」の識別<br>・「に」の識別<br>【漢文】<br>・漢詩<br>【古文と漢文の対比】<br>古文と漢文で描かれる歌の違いを理解する。               |